

# 小室さんら 初披露

## 中野でライブ 冤罪被害者支援歌

冤罪を訴える人を支援するミュージシャンによる「冤罪音楽プロジェクト」のCD発売を記念した初ライブが16日、中野区の「space & cafe ポレポレ坐」で開かれた。歌手の小室等さんが作ったオリジナル曲をミュージ



「冤罪音楽プロジェクト」のオリジナル曲を初披露する小室等さん（右から2人目）らミュージシャンたち  
中野区のライブ会場で

シャンらが歌いつなぎ「言葉をねじ曲げず、真実の追究を」と訴えた。歌は世界的なヒットとなった「ウィー・ア・ザ・ワールド」のように、約30人が歌いつなぐ。ライブでは6人の歌手がアレンジしながら、谷川俊太郎さんが作詞した「真実・事実・現実 あることないこと」を初披露。

小室さんは「この曲を歌い続け、支援の輪を広げたい。皆が集まれば、国をも動かす力になる」と呼びかけた。

会場には都内外から約70人が集まった。川崎市から来た会社員、中尾由美子さん(52)は「このプロジェクトで冤罪の実情を知った。一度都合よくゆがめられた言葉を覆すのは大変だと感じた。このような活動は今後も続けてほしい」と話した。

【荒木涼子】

2018/3/20 毎日新聞